

学校経営の4つのキーワード

①「信頼して、任せて、支える」

「青春って、すごく密なので」



前期後半開始

前期後半が始まりました。夏休み中は大きな事故や事件もなく、生徒や保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

8月26日の全校集会では、甲子園で優勝した仙台育英高須恵監督の「青春ってすごく密なので」という言葉について話しました。これは高校球児に限った話ではありません。本来「青春」というものは、友だちと他愛もないおしゃべりをしたり、大声で泣いたり笑ったり、給食を楽しんだり、時にはけんかをしたりと「密な」時間を過ごすものなのです。それができにくい現状を申し訳なく思うとともに、にもかかわらずみんなが黙々と日々過ごしていることはすばらしいことだと感じています。9月には延期になった体育大会が開催されます。3年生の思い出に残るような体育大会になればと期待しています。

夏の甲子園大会で優勝し、史上初の「白河の関越え」を果たした仙台育英高の須恵監督の優勝インタビューは、とても感動的で心に響く言葉でした。

【以下、一部抜粋】



「今年の3年生は入学した時から、新型コロナウイルスの感染に翻弄されてきました。それを乗り越えての優勝。

3年生にどんな言葉をかけたいですか。」との質問に対し、「入学どころか、たぶんおそらく中学校の卒業式もちゃんとできなくて。高校生活っていうのは、僕たち大人が過ごしてきた高校生活とは全く違うんです。青春って、すごく密なので。でもそういうことは全部ダメだ、ダメだと言われて。活動していても、どこかでストップがかかって、どこかでいつも止まってしまうような苦しい中で。でも本当にあきらめないでやってくれたこと、でもそれをさせてくれたのは僕たちだけじゃなくて、全国の高校生みんなが本当にやってくれて。」

「例えば、今日の下関国際さんもそうですけど、大阪桐蔭さんとか、そういう目標になるチームがあったから、どんなときでも、あきらめないで暗い中でも走っていったので。本当に、すべての高校生の努力のたまものが、ただただ最後、僕たちがここに立ったというだけなので、ぜひ全国の高校生に拍手してもらえたらと思います。」

未来の後輩のために

南小 学習支援ボランティア



夏休み前に大津南小から「小学生のサマースクールをするので中学3年生にお手伝いをしてもらえないか」という依頼がありました。それを受け、3年生の上野さん【左】と田代君【右】が未来の後輩のために快く参加してくれました。「とてもわかりやすく教えてもらって助かった」と南小からお礼のお電話がありました。大変ありがとうございました。